



ヤコウガイの輝き^{かがや}

ヤコウガイという貝を知っていますか？

^{りゅうきゅうれいとう}琉球列島でしかとれないヤコウガイは、昔から沖縄の人々のくらしと深くかわってきました。

^{りゅうきゅうおうこく}琉球王国の時代、このヤコウガイを使ったある品物が、沖縄からはるばる日本や中国に輸出されてきました。その品物は、ヤコウガイの殻を煮つめた煮貝（右の写真）を使って、手間をかけて作られます。

博物館には、その品物がいくつか展示されていますが、そのなかには、600万円以上するものもあります。歴史部門展示室にその品物が展示されています。探してみましょ。



ヤコウガイの煮貝

1. ヤコウガイを使った品物は、なんという名前でしょうか。また、この品物の、どこにヤコウガイが使われているのでしょうか。考えてみましょう。

品物の名前 ()

どの部分にヤコウガイが使われているのかな？ ()

2. ヤコウガイを使った品物は、^{びじゅつこうげい}美術工芸部門展示室にも展示されています。展示室の中にその品物はいくつあるかな？数えてみましょう。

() 個

3. ヤコウガイを使った品物には、漢字二文字のある共通した名前がついています。この名前は、ヤコウガイの殻を小さく切ったかけらをはめこむ技のことなのですが、その名前とは何でしょうか。

答え

--	--

キラキラして
きれいじゃのう



4. 琉球王国の時代よりもずっと昔、縄文時代じょうもんじだいや弥生やよい～平安並行時代へいあんへいこうじだい（*貝塚時代かいづかじだいともいいます）にも、ヤコウガイは人々の暮らしの中で使われていました。ヤコウガイを使った道具が、考古部門展示室にも展示されています。その道具の名前を答えましょう。

答え（ ）

5. 考古部門展示室には、ヤコウガイのほかにも、昔の人々が暮らしの中で利用していたいろいろな貝が展示されています。貝の名前を4つ答えましょう。

6. 沖縄の人々の暮らしの中で、貝は食べ物としてだけでなく、網あみのおもり、斧おの、腕輪うでわ、魔除まよけなど、さまざまな道具として使われてきました。みなさんの身近にはどんな貝がありますか。また、どのような道具として使われているのでしょうか。探してみましょう。

貝の名前

使い方

ヤコウガイとは？

大型のサザエの仲間で、南西諸島から熱帯インド・太平洋域に分布しています。水深30～40mほどの岩がごつごつした海底にすんでいて、貝殻の内側には真珠しんじゆのような光沢こうたくがあります。

